

事務事業名		三陸地区福祉関係窓口申請事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	08 自立した行政経営の確立			事業期間		予算科目 会計 款 項 目 事業	
	施策名	34 効率的で質の高い行政運営の推進						
	基本事業名	01 成果重視の行政運営の推進						
根拠法令					☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成13 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 [計画期間] 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入			
所属	部課名	生活福祉部保健福祉課						
	係 名	福祉医療係	電話 44-2103 内線					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・高齢者福祉、障害者福祉、母子福祉、児童福祉、地域福祉、医療費助成、介護保険に関する申請、届出等の受付を行う。 ・主な業務は、各種福祉関係の申請・届出の受付、送付。 ・事業費はない。 ・東日本大震災により建物が被災したため、窓口機能は停止している。代わりに三陸支所が三陸保健福祉センター内に移動したため、支所窓口にて申請の受付等を行っている。					全体計画(期間限定複数年度のみ)			
					総投入量 (千円)	事業費内訳	国庫支出金	
							都道府県支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	
							事業費計 (A)	0
人件費	正規職員従事人数							
	延べ業務時間							
	人件費計 (B)	0						
	トータルコスト(A) + (B)	0						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標										
手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・各種福祉関係の申請・届出の受付、送付。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・上記に加えて、各種福祉申請手続き等の受付研修の実施。	  	活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 申請手続き受付件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 申請手続き受付件数	件	イ		ウ	
		名称	単位							
		ア 申請手続き受付件数	件							
イ										
ウ										
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・各種福祉サービスの必要な三陸地区の市民	対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 三陸地区の市民</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 三陸地区の市民	人	キ		ク		
名称	単位									
カ 三陸地区の市民	人									
キ										
ク										
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・身近なところで申請手続きが出来、適正な各種福祉サービスが受けられるようにする。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 速やかに受付、申請が行われた割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ 適正に受付、申請が行われた割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 速やかに受付、申請が行われた割合	%	シ 適正に受付、申請が行われた割合	%	ス		
名称	単位									
サ 速やかに受付、申請が行われた割合	%									
シ 適正に受付、申請が行われた割合	%									
ス										
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・計画的に質の高い行政運営がなされている。										

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)
投入量	事業費内訳	単位	千円						
			円						
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円							
	事業費計(A)	千円		0	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人		1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間		500	500	500	500	500	500
	人件費計(B)	千円		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	トータルコスト(A) + (B)	千円		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
活動指標	ア	件		320	400	400	400	400	400
	イ								
	ウ								
対象指標	カ	人		7,872	7,765	7,610	7,381	7,315	7,125
	キ								
	ク								
成果指標	サ	%		100	100	100	100	100	100
	シ	%		100	100	100	100	100	100
	ス								

事務事業ID	0300	事務事業名	三陸地区福祉関係窓口申請事業
(3) 事務事業の環境変化・住民意見等 この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 平成9年に三陸保健福祉センターが設置され、開始された。			
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ ・旧三陸町の中心的な保健福祉センターであったが、平成13年の合併により、旧大船渡市の保健介護センターと役割分担し、三陸地域の担当センターとなった。 ・介護保険が開始されて、申請等の種類が増えた。			
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・特に意見はない。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 三陸地域の福祉関係についての窓口となっており、行政として拠点を有することは必要である。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象、意図ともに現状の業務に則しており、変更の余地はない。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 福祉関係の申請受付は種類も多く、件数の少ない手続き等を本庁に問い合わせなければならない内容などもあり、時間のかかる申請もある。職員研修を実施することで、サービスのレベルを向上し、対応できるようにしていく。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 福祉関係の申請であるため、なるべく身近なところで適正な各種福祉サービスが受けられるようにする必要がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) 大船渡地区の保健介護センター、本庁の保健福祉課、三陸支所窓口 ☒ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 震災により三陸支所窓口機能が移転しており、そこで一緒に対応することが可能である。	☐ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 事業費はないため、削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☒ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない [理由] やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 三陸支所の機能が移転しているために職員が別業務に専念することができる。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 大船渡地区の保健介護センター、本庁の保健福祉課と同等であり、適正化の余地はない。

事務事業ID	0300	事務事業名	三陸地区福祉関係窓口申請事業
--------	------	-------	----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 東日本大震災により三陸支所の窓口が移転していることから、そこで一緒に手続きすることにする。今後、三陸支所を改築する予定ではあるが、その際に窓口機能をどうするかが課題である。																					
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり											
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☒ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・三陸支所窓口にて他の窓口サービスと一緒に処理することとする。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	●		×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 各種申請の種類が多いことから、窓口職員への研修、周知が必要と思われる。																							

(職 名) 原則として施策の主管課長	
2次評価者	保健福祉課長

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																					
		<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり										
目的妥当性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり																						
効率性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり																						
公平性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容)		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項